

木オだよソ

社会福祉法人 東香会
しぜんの国保育園 small village

Aug. 2023



法人理念
いきいき

- 子どもの成長・発達・生活に寄与する人はすべて保育者
- 持続的な暮らしを目指し、物質と事象と生命との関係性を深める
- 地域で安心して子育てができるように

8月主題 人も虫も魂も 陽だまりに つどう笑顔

夏ですね。暑いですね。子どもたちと一緒に過ごす夏の記憶。よく義母からも「たとえ忙しくても、子どもと夏の思い出を作るとはとても大事なこと」と教えてもらい、「子どもと一緒に過ごす夏」を意識してきました。

私も息子との夏の思い出はたくさん。15歳になった今も夏の思い出を語り合うことがあります。些細なことでもいいんです。川遊びの水の冷たさ、まん丸のスイカの赤、のんびり食べた旅先のソフトクリーム。いつもとちょっと違う夏の思い出。私自身は人工透析をしている父方の祖母と一緒に暮らしていたので、なかなか旅行に行くのは難しい幼少期でしたが、母と一緒にいった図書館で飲んだチェリオの色や（涼しくて図書館が大好きだった）、公園で水遊びをしたこと、夕方涼しくなってから母と一緒にいった多摩川土手の風景をおぼえています。

園長 齋藤美和

じむしょ 小窓 だより

すみれ組のブラブラ

最近のすみれ組では、テラスでの水遊びも始まり、思い切りびしょ濡れになって遊んだ後は（大人にも水を存分にかけてびしょ濡れにさせて大喜びした後は）シャワーを浴びてさっぱり、タオルで体を拭いて、テラスから廊下をブラブラ歩いてすみれ室に戻ります。大人はその進んでいる道のりを見つめています、お互いの距離は少し離れています。少し進んだかと思えば戻ってきたり、廊下にある何かを見つけて立ち止まったり、後ろからやってくる友だちのことを迎えにきたり、テラスにいる大人のことを振り返りながら、2歳の子どもたちは嬉しそうな顔で、自由に廊下を行き来して、すみれ室に登っていくのです。そしてすみれ室の扉をトントンして「開けて〜」と中に入ったり、テラスから大人が戻ってくるのを扉の前の廊下に友だちと並んで座ってにこにこ顔を見合わせて待っていたりします。

2000年代に入ってから、2歳のことを「イヤイヤ期」と呼ぶことが増えてきました。大人の促しや指示に対して、「いや」「やだ」「だめ」と否定表現を使うことから使われたネーミングで、他にも「terrible two」「魔の2歳児」と呼ばれることもあります。強く自己主張し、大人の思い通りにならない2歳のことを、「困った時期」と見られる風潮もあるようです。

一方で、英語圏では2〜3歳ごろの子どものことを「トドラー」とも呼びます。「よちよち歩きの者」という意味です。しぜんの国の保育者が年間を通じて勉強している「子どもの主体性」についての本、『保育的発達論のはじまり』（川田学 著）では2歳を「ブラブラ期」と呼んでいます。川田さんの研究室にいるチベットからの留学生が、チベットの2歳の生活を「ブラブラしている」と表現したところから生まれた言葉です。「トドラー」も、「ブラブラ期」も、2〜3歳児の生活の仕方をよく表しています。自分自身の手足で環境内を動きまわり、ちょっと先を見通しながら、風景、モノ、コト、人との出会いを楽しみ、その楽しみをつなぎ合わせていく過程全体に喜びと満足を得ているのが、この時期です。

シャワーを浴びて、「一緒にみんなで帰ります！」と列を作って帰ることなく、短い距離を「ご自由にどうぞ」としていることで生まれる、すみれ組の余白の時間、ブラブラの時間。子どもたちが自然に、リラックスして2歳の「あるがまま」でいる姿がいいなあ、ブラブラしたい気持ちを大切に思っている大人がいるすみれ組が、いいなあ、と思っている、夏の日々です。
(マネージャー 辻徳子)

村の春夏秋冬

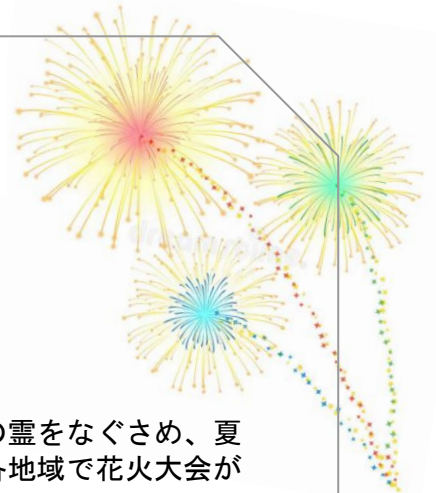
～季節のたより・8月～

8月のお盆時期に花火大会が多いのはどうして...？

それは昔の人たちが無病息災を願ったからだそう。
また初めて花火大会をしたのは大川（今の隅田川）。
今年は4年ぶりに開催していましたね。

その初めて花火大会をした時に、当時流行した疫病の犠牲者の霊をなぐさめ、夏をみんなが元気に過せるようにと祈りました。これを機に、各地域で花火大会が広まったそうです。（諸説あり）

しぜんの国のみなさんも花火を見に行ったり、各家庭で楽しむことがあると思います。パチパチという音、色鮮やかな色、その景色を囲む子どもと大人。
今年の夏は、「元気にすごせますように」という願いを込めてみるのはいかがでしょうか？



保育者 リレー エッセイ

今月の担当はつぼみ組0歳担任の山崎彩加さんです。
【私にない静かなたたずまい。興味津々でしつこいくらい声をかけています。特別なリラックス方や町田でお気に入りの場所などありましたら教えてください。いつか一緒に行きましょう！】

柴田さん、エッセイバトン受け取りました！
いつも明るく声を掛けて下さる柴田さん。その明るさにたくさんのパワーを分けてもらっています。周りの人たちを元気にしてくれる姿に素敵だなあと、つい憧れの目線を送ってしまいます。いつもありがとうございます。

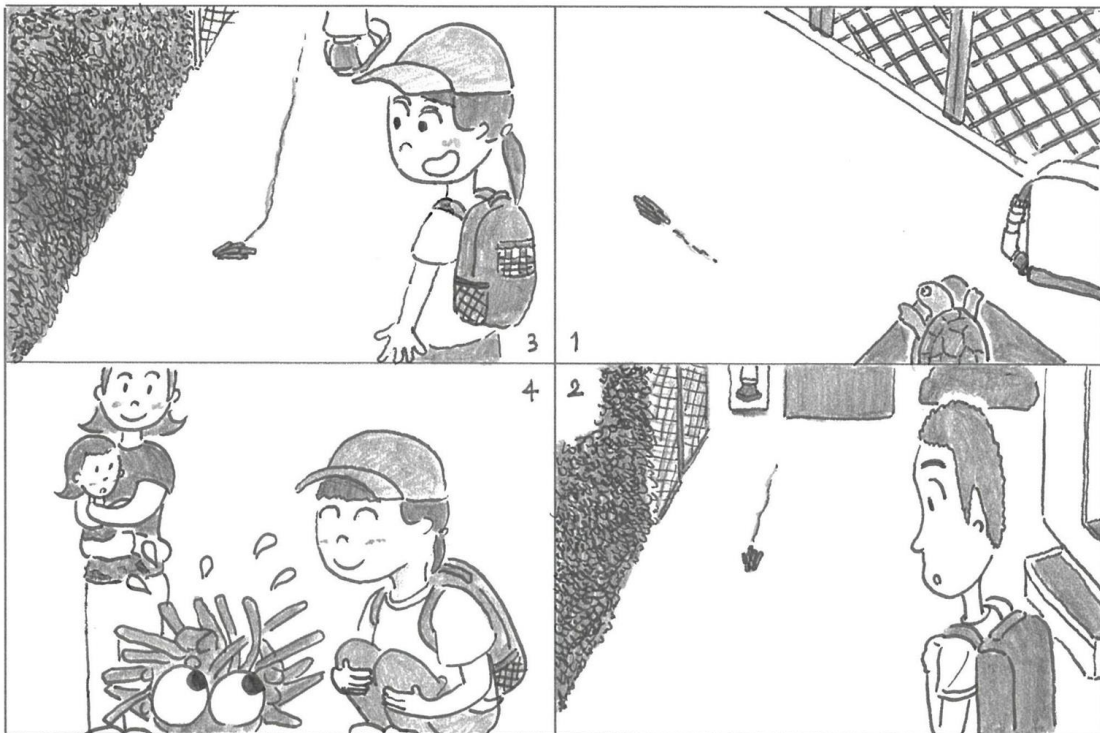
私のリラックス方法は、お風呂タイムを最高の癒し時間にする事です。実はお風呂の過ごし方にはこだわりがあって、お風呂場の電気を消してアロマキャンドルを灯し、お気に入りの入浴剤を入れて温まる時間がとっても好きなんです。キャンドルのほんわかとした明かりが広がり、火の揺らめきと水面に映って揺れる様子を眺めているだけで、疲れが吹き飛んでいきます。キャンドルと入浴剤の香りを合わせると尚良しです！今のお気に入りは、ベルガモットやシトラスミントなどのさわやかな香り。時々、リラックスしすぎて眠ってしまいそうになりますが…この時間が私の至福のひとつです。また、町田のお気に入りの場所も癒しの時間と通ずるものがあるのですが、自宅近くにある境川ゆっくりロードは私のお気に入りの散歩道になっています。川の流れていく様子を眺めたり、せせらぎを聞きながら歩いたりするのが好きです。柴田さんのようにアクティブにいろいろなところを巡るのも楽しそうですが、つつい癒しスポットを求めてしまいます。散歩しながら出会う季節の変化や空気、花の香りも好きです。保育の中でも、子どもたちとそんな発見を楽しみながら過ごしたいなと思っています。

今回は…上島足日さん。私も子どもたちもいつもワクワクしている上島さんの紙芝居。絵を描く事が苦手な私にとってはとても羨ましいです！絵を上手に書くコツや芸術に魅せられたきっかけなどありましたらぜひ教えてください。

かみじまのんびり 漫画劇場

「みのむし散歩」

文・絵 かみじまたるひ



INFO

たるおじさんの紙しばい新作「どうぶつさん」 YouTubeにて公開！
<https://www.youtube.com/watch?v=EUfgsOWI6Y4>